

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-028732

(43)Date of publication of application : 04.02.1997

(51)Int.Cl.

A61F 13/54

A61F 5/44

A61F 13/15

(21)Application number : 07-178952

(71)Applicant : OJI PAPER CO LTD

(22)Date of filing : 14.07.1995

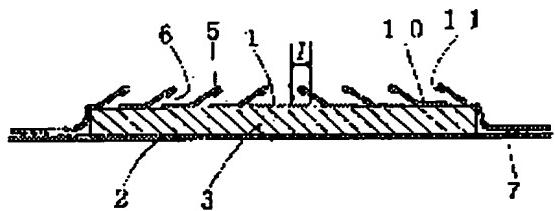
(72)Inventor : NAKAZAWA SACHIKO
HIRAI YOSHIO

(54) ABSORPTIVE ARTICLE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent the side leakage of excretion and to improve the touch and absorptivity by forming an absorptive article from a front surface sheet and plural sheets, adhering the side edges of respective sheets on the outside of the absorptive article onto the surface of the absorptive article and forming a lot of opening parts by forming their side edges on the opposite side into the shape of walls as free edges.

SOLUTION: A disposable diaper is constituted by arranging an absorber 3 between a liquid permeable front surface sheet 1 and a liquid non-permeable rear surface sheet 2. The front surface sheet 1 is formed from the plural sheets arranged in the lengthwise direction of the disposable diaper. Then, the side edges of respective sheets forming the front surface sheet 1 positioned on the outside of the disposable diaper are defined as an adhesive part 10 and adhered onto the front surface of the absorber 3. The side edge parts positioned on the inside of the disposable diaper are formed into a free edge 5 so that the adjacent sheets are piled each other and the wall 5 can be formed. Then, an opening part 6 is formed by that wall 5.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(書誌+要約+請求の範囲)

(19)【発行国】日本国特許庁(JP)
 (12)【公報種別】公開特許公報(A)
 (11)【公開番号】特開平9-28732
 (43)【公開日】平成9年(1997)2月4日
 (54)【発明の名称】吸収性物品
 (51)【国際特許分類第6版】

A61F 13/54
 5/44
 13/15

【FI】

A41B 13/02 F
 A61F 5/44 H
 13/18 310 Z

【審査請求】未請求

【請求項の数】2
 【出願形態】OL
 【全頁数】9

(21)【出願番号】特願平7-178952
 (22)【出願日】平成7年(1995)7月14日
 (71)【出願人】
 【識別番号】000122298
 【氏名又は名称】王子製紙株式会社
 【住所又は居所】東京都中央区銀座4丁目7番5号
 (72)【発明者】
 【氏名】中澤 幸子
 【住所又は居所】東京都江東区東雲1丁目10番6号 新王子製紙株式会社東京商品研究所内
 (72)【発明者】
 【氏名】平井 好夫
 【住所又は居所】東京都江東区東雲1丁目10番6号 新王子製紙株式会社東京商品研究所内

(57)【要約】

【課題】

【解決手段】表面シート上の排泄物の横漏れを阻止し、排泄物を移動処理することにより表面シート上に排泄物を残さないだけでなく、着用者側の表面全体をシートで覆うことにより肌触りを良くし、吸収体自身のよれ、型くずれ、ポリマー漏れを起こさない吸収性物品を提供する。

【構成】液体透過性の表面シートと液体不透過性の裏面シートの間に吸収体が配置された吸収性物品において、前記表面シートは吸収性物品の長手方向に沿って配列された複数枚のシートからなり、前記複数枚のシートは、吸収性物品の外側の方に位置する側縁部が前記吸収体表面で接着されており、吸収性物品の内側の方に位置する側縁部が前記吸収体表面から離間して自由縁を形成しており、かつ隣接する前記複数枚のシート同士の重なり合った部分で前記自由縁により襞が形成されるとともに、多数の開口部が形成されている吸収性物品。

【特許請求の範囲】

【請求項1】液体透過性の表面シートと液体不透過性の裏面シートの間に吸収体が配置された吸収性物品において、前記表面シートは吸収性物品の長手方向に沿って配列された複数枚のシートからなり、前記複数枚のシートは、吸収性物品の外側の方に位置する側縁部が前記吸収体表面で接着されており、吸収性物品の内側の方に位置する側縁部が前記吸収体表面から離間して自由縁を形成しており、かつ隣接する前記複数枚のシート同士の重なり合った部分で前記自由縁により襞が形成されるとともに、多数の開口部が形成されていることを特徴とする吸収性物品。

【請求項2】請求項1の吸収性物品において、シート同士の重なり合った部分が部分的に接着されており、襞を形成している表面シートの吸収体への開口部がアーチ状になっていることを特徴とする吸収性物品。

詳細な説明

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、おむつ、失禁者パッド、生理用ナプキンなどの吸収性物品に関するものである。更に詳しくは、着用者の排泄物が直接肌に触れることを避け、吸収性物品からの横漏れの防止と吸収能力の向上を図り、着用時の不快感を改良した吸収性物品に関するものである。

【0002】

【従来の技術と課題】従来の吸収性物品の基本構造は、液体透過性の表面シートと液体不透過性の裏面シートの間に吸収体が配置された三層構造である。また、前記表面シートと吸収体の間に透水性シートを重ねて配置される場合もある。

【0003】従来の吸収性物品に伴う一つの問題は、排泄物が高粘性であったり量が多い場合に、表面シートの液体透過性が十分ではなく、排泄物が表面シート上を流れて広がり横漏れが起きやすくなる点である。また、着用者の皮膚を広範囲で汚すため、着用者に不快感を与え、乳児の場合は皮膚かぶれの原因となる可能性がある。

【0004】これらの吸収性物品の横漏れ防止及び着用者の不快感減少のために、これまで多くの提案がなされてきた。例えば、吸収体サイドに設ける横漏れ防止策としては、表面シートと裏面シートを貼り合わせて形成されるサイドフラップの表面シート側(上側部)に、パリヤー壁を有する弾性材料からなる脚カフス部材を設ける(特開昭61-296103号公報)、従来のサイドフラップの吸収体寄りの内側にパリヤカフスと称し、上部ループに弹性体を結合させて弹性体が伸張するとパリヤカフスが表面シートの上面から離間して排泄物漏れの障壁とする(特開昭62-250201号公報)などの提案がある。また、吸収体上での横漏れ防止策としては、表面シートによりT字型または平型の帯状に形成した襞を複数本配設する(特開平3-188851号公報)、表面シートの折り畳みにより、側部から中央に向かっての襞を形成する(特開平6-142134号公報)、表面シートに弹性体を配設し、弹性体に沿って中央の表面シートを適当な長さにスリットカットすることで横漏れ防止用の立体伸縮ギャザーを形成する(特開平6-14960号公報)などの提案もある。更に表面シートの上に更に孔を設けたシートを配設したもの(特開平3-218751号公報、特開平3-202057号公報、特開平5-49658号公報)や、表面シート自身を浮き上がらせてポケット状形状を形成し、表面シートがU字型の開口部有することで吸収体が着用者接触面に出てくるもの(特開平4-300543号公報)、また表面シートは同様に浮き上がりポケット状形状を形成し開口部は有するが、吸収体が直接着用者に接しないもの(特開平4-102452号公報)などが提案されている。

【0005】しかしながら、これらの吸収体サイド或いは吸収体上に設けた防漏堤により排泄物の横流れを防止する提案は、たとえ排泄物の横漏れを阻止し得たとしても表面シート上に吸収されなかった排泄物は残るため、排泄物が表面シート上を流れて広がり着用者の皮膚を広範囲で汚すことになる。そのため、着用者に不快感を与え、乳児の場合は皮膚かぶれの原因となる可能性もある。また、吸収性物品の交換時に漏れる可能性もある。表面シートがスリットカットされて立体伸縮ギャザーが形成されたり、開口部が大きく切り出されている場合は、排泄物が表面シートの開口部より吸収体に直接接することで、吸収される可能性は高いが、開口部での表面シートの重ね合わせ部分がないため、吸収体が直接着用者の肌に接する可能性があり、着用者への肌触りの低下、吸収体自身のよれ、型くずれ、更にはポリマー漏れの問題が発生する可能性がある。また、表面シート自身を浮き上がらせてポケット状形状を形成し開口部を設ける提案では、排泄物が開口部よりポケット状空間に確保されれば横漏れは阻止し得るが、一開口部の場合、着用者の装着状態、排泄物の量、粘度により必ずしも開口部より排泄物をポケット状空間に確保できるとは限らない。そのような場合は、排泄物が表面シート上を流れて広がり、着用者の皮膚を広範囲で汚すのみならず横漏れが起きる可能性もある。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】前記に示した従来の吸収性物品においては、排泄物の横漏れを物理的な防漏堤で防止するだけで排泄物が表面シート上を流れて広がるため、着用者の皮膚を広範囲で汚し、着用者に不快感を与え、乳児の場合は皮膚かぶれの原因となる問題があった。また、表面シートに開口部を設け表面シートから吸収体へ排泄物を移行させる手段を有するものは、移行手段が十分ではないか、若しくは、着用者への肌触りの低下、吸収体自身のよれ、型くずれ、ポリマー漏れを起こすなどの問題を有するものがあった。

【0007】本発明の目的は、上記のような問題を解決しようとするものである。すなわち、着用者の装着状態に関わらず表面シート上の排泄物の横漏れを阻止し、排泄物を移動処理することにより排泄物を表面シート上に残さないだけでなく、着用者側の表面全体をシートで覆うことにより肌触りを良くし、吸収体自身のよれ、型くずれ、ポリマー漏れを起こさない吸収性物品を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は、液体透過性の表面シートと液体不透過性の裏面シートの間に吸収体が配置された吸収性物品において、前記表面シートは吸収性物品の長手方向に沿って配列された複数枚のシートからなり、前記複数枚のシートは、吸収性物品の外側の方に位置する側縁部が前記吸収体表面で接着されており、吸収性物品の内側の方に位置する側縁部が前記吸収体表面から離間して自由縁を形成しており、かつ隣接する前記複数枚のシート同士の重なり合った部分で前記自由縁により襞が形成されるとともに、多数の開口部が形成されていることを特徴とする吸収性物品である。また、本発明は、前記シート同士の重なり合った部分が部分的に接着されており、襞を形成している表面シートの吸収体への開口部がアーチ状になっていることを特徴とする吸収性物品である。

【0009】本発明による吸収性物品は、吸収性物品の長手方向に沿って配列された複数枚のシートを重ねて襞を形成することで排泄物の流れを阻止し、横漏れの問題が解決される。また、多数の開口部が形成されることで着用者の装着状態、排泄物の量や粘度に関わらず速やかに排泄物を吸収体へ移行させることが出来る。そのため、排泄物が表面シート上を流れて広がり着用者の皮膚を広範囲で汚したり、着用者に不快感を与えたいたり、乳児の皮膚かぶれの原因を作ることもない。また、吸収性物品の交換時に漏れる可能性もない。一方、吸収体は表面シートで覆われているため、着用者の肌触りや吸収体自身のよれ、型くずれ、ポリマー漏れの問題もない。

【0010】

【発明の実施の形態】

【実施例】以下、図面により、使い捨ておむつを例にして、本発明の吸収性物品を詳細に説明するが、本発明はこれらに限定されるものではない。図1に示すものは、使い捨ておむつの一部切欠け展開平面図である。図1において、使い捨ておむつは、液体透過性の表面シート1と液体不透過性の裏面シート2の間に吸収体3が配置されている。表面シート1は、親水性材料より作られ、好みしくは柔らかい感触を有する。裏面シート2は、液体不透過性又は疎水性材料より作られ、好みしくは柔らかい感触を有し、かつ通気性を持つ疎水性不織布より形成される。表面シート1は、使い捨ておむつの長手方向に沿って配列された複数枚のシートからなり、使い捨ておむつの外側の方に位置する側縁部が吸収体3表面で接着部10により接着されて、使い捨ておむつの内側の方に位置する側縁部が自由縁を形成しており、かつ隣接するシート同士の重なり合った部分で襞5を形成している。各表面シートが重なり合った形では、表面シート1と裏面シート2は吸収体3よりも大きい幅寸法、長さ寸法を有している。表面シート1と裏面シート

2は全体として同じ長さ寸法と幅寸法に形成され、表面シート1が裏面シート2の上に重ね合わされ、全体が相互の外周(周縁)において一体となるように接着されている。また、前記吸収体3の幅方向両側部の外側には、前記表裏両面シートを延出して両側に側方ラップが形成されている。そして、前記ラップ部を形成する表面シート1と裏面シート2の間には、脚周り伸縮弹性体7が伸張状態で配設されており、背側ラップ部には、腰周り伸縮弹性体8とファスニングテープ9が配設されている。

[0011]図2は、隣接する表面シートの一部を間欠的に接着した、図1とは別の実施例である使い捨ておむつの一部切欠け展開平面図である。図2において、表面シート1と裏面シート2の間に吸収体3が配置され、表面シート1は、使い捨ておむつの長手方向に沿って配列された複数枚のシートからなり、隣接するシート同士の重なり合った部分で襞5を形成しているが、隣接する表面シート同士の一部は、接着部13により間欠的に接着されている。接着は接着剤等でも良いが、熱や超音波による溶着でも良く、特に方法を限定する必要はない。また、接着部は接着されている両シートが離れなければよく、特に接着面の大きさを限定するものでもない。襞5を形成している重なり合った表面シート1間の間欠的な接着は、着用者の動きにより襞5がめくれ上がることを防止する。

[0012]図3は図1の使い捨ておむつのX-X' 線断面図であり、液体透過性の表面シート1と液体不透過性の裏面シート2の間に吸収体3が配置されている。吸収体3は、従来の使い捨ておむつその他の吸収性物品に通常使用されている公知の吸収性材料から作られており、接着剤等によって部分的もしくは全面で裏面シート2に接着固定されている。表面シート1は使い捨ておむつの長手方向に沿って配列された複数枚のシートからなり、複数枚のシートは、使い捨ておむつの外側の方に位置する側縁部が吸収体表面で接着され、使い捨ておむつの内側の方に位置する側縁部が吸収体表面から離間して自由縁を形成し、かつ隣接する複数枚のシート同士の重なり合った部分で自由縁により襞5が形成されるとともに、多数の開口部6が形成されている。

[0013]隣接する表面シート間の重なり部分Iは、2mm以上、好ましくは5mm以上で、上に重なった表面シート幅以下であれば良い。これは、表面シート1の重なり部分がないと、着用者の装着状態によっては吸収体3が直接着用者の肌に接し不快感を与えるかねず、上に重なった表面シート幅以上に隣接する表面シート1間に重なり部分があると、下になる表面シート1の自由縁が襞5を形成し得ない為である。襞5を形成する表面シート1の自由縁は、表面シート1の切断面により形成しても良いが、好ましくは表面シートの一部を折り曲げて形成された折り曲げ部11を有する。また、本図面では表面シート1の襞5の数を8枚示したが、2枚以上の複数本を表面上に設置可能な限り設けることができる。さらに、襞5を形成する各表面シート1の幅は5mm以上50mm以下、好ましくは15mm以上30mm以下であり、各表面シート間で均一である必要はない。中央部で襞5を形成しない表面シートの幅は10mm以上吸収体3の幅以下、好ましくは20mm以上吸収体3の幅以下である。各表面シート1の素材は同一の素材である必要ではない。

[0014]図4は、表面シート1と吸収体3の間に拡散層を配設した、図3とは別の実施例を示す図1の使い捨ておむつのX-X' 線断面図である。図4において、吸収体3と裏面シート2、及び拡散層4と吸収体3は、接着剤等によって部分的もしくは全面で接着固定されている。また、表面シート1の接着部10は、拡散層4に接着されている。

[0015]図5は、拡散層4と表面シート1とが一体化して、襞を形成している、図3、図4のとは別の実施例を示す図1の使い捨ておむつのX-X' 線断面図である。図5において、吸収体3と裏面シート2、及び表面シート1と拡散層4は、接着剤等によって部分的もしくは全面で接着固定されている。拡散層4は表面シート1と共に、使い捨ておむつの長手方向に沿って配列された複数枚のシートを形成し、隣接するシート同士が重なり合っている。複数枚のシートは、使い捨ておむつの外側の方に位置する側縁部が吸収体表面で接着され、使い捨ておむつの内側の方に位置する側縁部が吸収体表面から離間して自由縁を形成し、かつ隣接する複数枚のシート同士の重なり合った部分で自由縁により襞5が形成されるとともに、多数の開口部6が形成されている。このように拡散層4と表面シート1とを一体化し、襞5を形成させることによって、表面シート1の襞5をより隣接する表面シート1の接着部分から離間し、排泄物の横漏れを防止し吸収体3への開口部6を大きくすることができる。

[0016]図6は、襞5を形成している表面シート1の自由縁の折り曲げ部11内に伸縮弹性体12を配設した、図3～図5とは別の実施例を示す図1の使い捨ておむつのX-X' 線断面図である。伸縮弹性体12は、伸張状態で配設され、接着剤で接着されている。図面では全ての襞5に伸縮弹性体12を配設しているが、部分的に伸縮弹性体12を配設しても良い。表面シート1の自由縁に伸縮弹性体12を配設することによって、表面シート1の自由縁が伸縮弹性体12の収縮で弹性的に引き起こされ、排泄物の横漏れを防止し、吸収体3への開口部6を大きくすることができる。

[0017]図7は、隣接した表面シートの一部を間欠的に接着した、図2の使い捨ておむつのY-Y' 線断面図である。図7において、表面シート1は、隣接する表面シートの重なり合う部分において、下層部分1₁と上層部分1₂とを形成して、二層構造になっており、上層部分1₂は接着部分1₃において下層部分1₁と間欠的に接着されており、さらに、上層部分1₂の自由縁により襞5を形成すると同時に下層部分1₁との間でアーチ状の開口部6が形成されている。本実施例の使い捨ておむつは、着用者の装着により、長手方向と交差する横方向に皺(ギャザー)を派生させ、襞5がアーチ状の開口部6を形成して、排泄物の吸収体3への移行をし易くする。また、接着間隔Iは、着用者が装着したときに襞5がアーチ状の開口部6を形成する間隔が良い。間隔が狭すぎると吸収体3への開口部6としての役割を果たせなくなり、大きすぎるとアーチを形成しなくなる。したがって、接着間隔は3mm以上100mm以下、好ましくは10mm以上30mm以下である。

[0018]図8は、図2の使い捨ておむつのZ-Z' 線、すなわち隣接する表面シート1の一部を間欠的に接着した接着部分に沿って切断した場合の断面図である。図8において、表面シート1と裏面シート2の間に吸収体3が配置されており、長手方法に沿って配列された複数枚の表面シート1は、使い捨ておむつの外側の方に位置する側縁部が吸収体表面で接着されており、使い捨ておむつの内側の方に位置する側縁部が隣接する表面シートに接着されている。本図面では、全ての表面シートが接着されているが、接着されている表面シートと接着されていない表面シートが同居していても良く、各表面シートの接着間隔が異なっていても良い。

[0019]図9は、図2の使い捨ておむつのW-W' 線断面図である。図9において、表面シート1と裏面シート2の間に吸収体3が配置されており、表面シート1は使い捨ておむつの長手方向に沿って配列された複数枚のシートからなり、使い捨ておむつの外側の方に位置する側縁部が吸収体表面で接着されており、使い捨ておむつの内側の方に位置する側縁部が吸収体表面から離間して自由縁を形成しており、さらに自由縁により襞5を形成するとともに、吸収体3への多数の開口部6を形成している。

[0020]なお、重なり合った表面シート1間を間欠的に接着する場合でも、図4や図5に示す様に拡散層4を表面シート1と吸収体3の間に配設しても良く、また、図6に示す様に伸縮弹性体12を伸張状態で上に重なった表面シート1の自由縁に配設し、接着剤で接着しても良い。

[0021]使用される表面シートは、親水性もしくは疎水性の不織布、織布、多孔性プラスチックフィルム等であり、その構成繊維は、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエステル、または、ポリエステル、ポリプロピレン、ポリエチレン等の2成分以上からなる複合繊維等でも良く、特に、ポリエステル/ポリエチレン、ポリエチレン/ポリエチレン、ポリプロピレン/ポリエチレンの複合繊維が強度の面から好ましいが、特に制限をうけるものではない。

[0022]使用される吸収体は、従来使い捨ておむつその他の吸収性物品に通常使用される公知の吸収性材料から作られている。すなわち、綿状パルプ、レーヨン等の吸収性繊維からなる単層もしくは多層のマットから形成され、さらに親水性シートによりくるまれている。そして、高吸水性ポリマーが各マット中に均一に混合もしくは各マット間に層状に配設されている。または、綿状パルプに対して3～60重量%の熱融着性物質を混合して熱圧着してもよい。綿状パルプとしては、化学パルプシートもしくは、機械パルプシートを粉碎機で解纖することにより得られる繊維長5mm以下のものである。パルプ原料としては、針葉樹に限らず、広葉樹等の木質繊維を用いることができる。

樹、わら、竹およびケバ子も適用される。このパルプの使用量は、目的とする吸収体により、例えば、単独で用いるか、複数積層して用いるか、他の吸収材を併用するなどにより異なるが、一般的には、50～400g/m²にされる。

【0023】高吸水性ポリマーとしては、デンプン系、セルロース系、合成ポリマー系が挙げられる。すなわち、デンプンーアクリル酸(塩)グラフト共重合体、デンプンーアクリル酸エチルグラフト共重合体のケン化物、デンプンーメタクル酸メチルグラフト共重合体のケン化物、デンプンーアクリロニトリルー2ーアクリルアミドー2ーメチルプロパンスルホン酸グラフト共重合体のケン化物、アクリル酸(塩)重合体、アクリル酸で架橋されたポリエチレンオキシド、ナトリウムカルボキシメチルセルローズの架橋物、ポリビニールアルコールー無水マレイン酸反応物の架橋物などである。自重の20倍以上の尿、体液及び水を吸収するもので、ポリアクリル酸ナトリウム系のものが吸収性能の点から最も適当である。高吸水性ポリマーの分布量は、綿状パルプの乾燥状態で全重量の10～500%、好ましくは15～300%であり、かかる量の高吸水性ポリマーが綿状パルプに実質的に均一に分布している。高吸水性ポリマーが吸収し膨潤したとき、その粒子は相互の干渉が最小にとどめられ、連続的に接觸して透過障壁を形成することが少なく、尿や体液を3次元方向に透過、吸収する。

【0024】親水性シートは、例えば、ティッシュ、吸収紙、親水性不織布等、親水性のシートであれば良い。吸収体の圧縮方法として、周面が平滑なロールなどにより、吸収体の密度がその全体にわたり実質的に均等になるように連続する面状であってもよいし、周面が凹凸状であるロールなどにより、吸収体の密度が部分的に異なり、尿や体液を縦方向及び斜め方向に導く模様配列のエンボスであってもよい。エンボスの場合、圧縮部、非圧縮部は、連続、非連続のいずれであってもよい。

【0025】拡散層は、親水性液体透過性の不織布、織布、多孔性プラスチック、綿状パルプ等であり、その構成成分はポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエステル、レーヨン、パルプまたはこれらの複合纖維等でも良く、特に制限を受けるものではない。拡散層は、表面シートと吸収体の間に配設され、接着剤等で吸収体、表面シートの両者もしくは一方に接着固定される。

【0026】伸縮弹性体は、天然、合成ゴム、ウレタンなどの糸状、ひも状、平型形状のものを設置位置に応じて用いられる。伸縮弹性体の配設はシートに接着剤により固定される。

【0027】この実施例では、表面シートと吸収体もしくは表面シート間が、ホットメルト接着などにより接着なされている。接着面は吸収体では全面もしくは部分的になされており、表面シート間でも部分的に接着されていることがある。接着剤として、澱粉系またはCMC(カルボキシメチルセルロース)などの水溶性の糊又は、流動性の高い接着剤でもよい。また、シート間は熱や超音波による溶着でも良い。上記記載実施例では、表面シートが吸収性物品の長手方向に沿って配列された複数枚のシートからなり、吸収性物品の外側の方に位置する側縁部が吸収体表面で接着されて、吸収性物品の内側の方に位置する側縁部が吸収体表面から離間して自由縁を形成し、かつ隣接する複数枚のシート同士の重なり合った部分で自由縁により襞が形成され、多数の開口部が形成されていることにより、はじめて本発明の効果が達成可能となる。

【0028】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の吸収性物品は、吸収性物品の長手方向に沿って配列された複数枚の表面シートの自由縁により襞が形成されるとともに、多数の開口部が形成されているものであり、着用者の装着状態に関わらず表面シート上の排泄物の横漏れを阻止し、排泄物を移動処理することにより排泄物を表面シート上に残さないだけでなく、着用者側の表面全体をシートで覆うことにより肌触りを良くし、吸収体自身のよれ、型くずれ、ポリマー漏れを起こさないという効果を有するものである。

図の説明

【図面の簡単な説明】

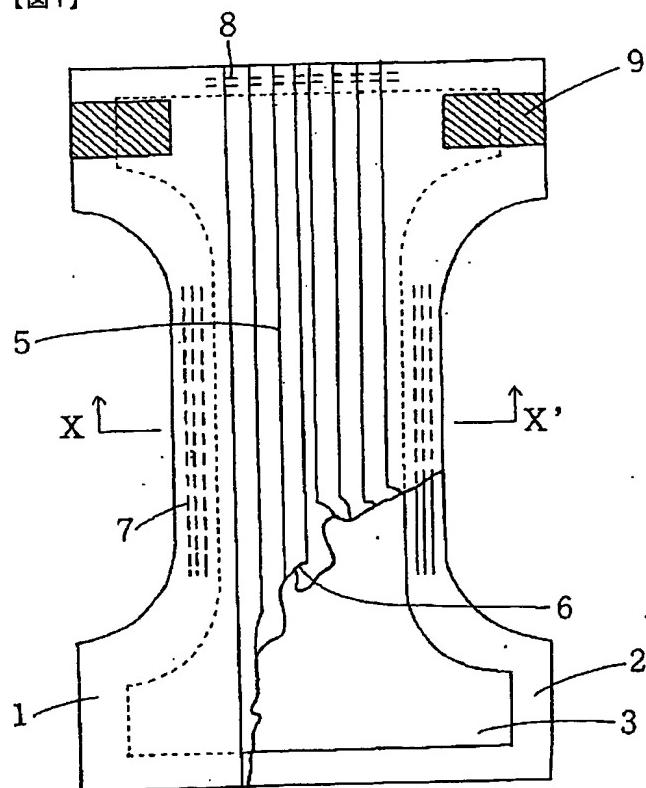
- 【図1】本発明の使い捨ておむつの一部切り抜き平面図。
- 【図2】本発明の使い捨ておむつの図1とは別の実施例を示す一部切り抜き平面図。
- 【図3】図1の使い捨ておむつのX-X'線断面図。
- 【図4】図3とは別の実施例を示す図1の使い捨ておむつのX-X'線断面図。
- 【図5】図3、図4とは別の実施例を示す図1の使い捨ておむつのX-X'線断面図。
- 【図6】図3、図4、図5とは別の実施例を示す図1の使い捨ておむつのX-X'線断面図。
- 【図7】図2の使い捨ておむつのY-Y'線断面図。
- 【図8】図2の使い捨ておむつのZ-Z'線断面図。
- 【図9】図2の使い捨ておむつのW-W'線断面図。

【符号の説明】

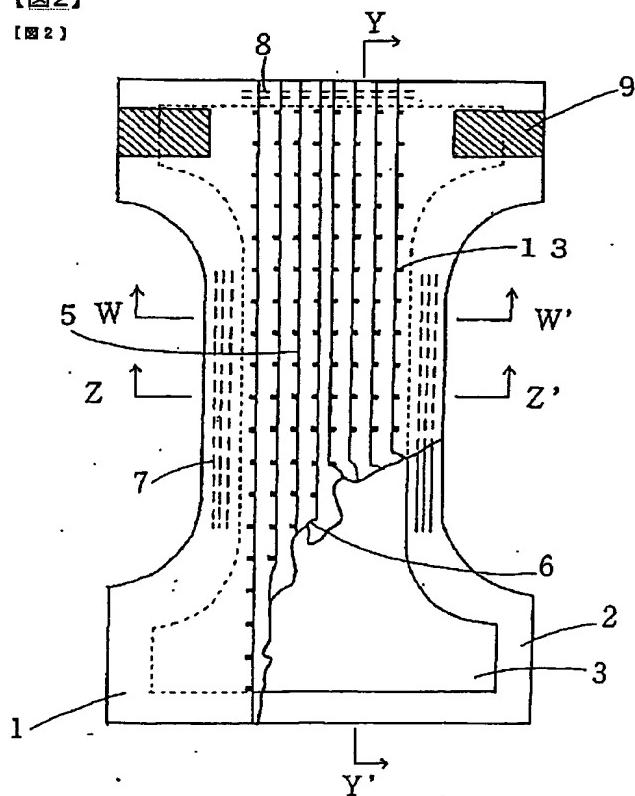
- 1. 液体透過性の表面シート
- 1₁. 表面シートの下層部分
- 1₂. 表面シートの上層部分
- 2. 液体不透過性の裏面シート
- 3. 吸收体
- 4. 拡散層
- 5. 自由縁(襞)
- 6. 開口部
- 7. 脚周り伸縮弾性体
- 8. 腰周り伸縮弾性体
- 9. フラッピングテープ
- 10. 接着部
- 11. 折り曲げ部
- 12. 自由縁伸縮弾性体
- 13. 間欠的接着部分
- l. 表面シートの重なり部分
- m. 接着間隔

図面

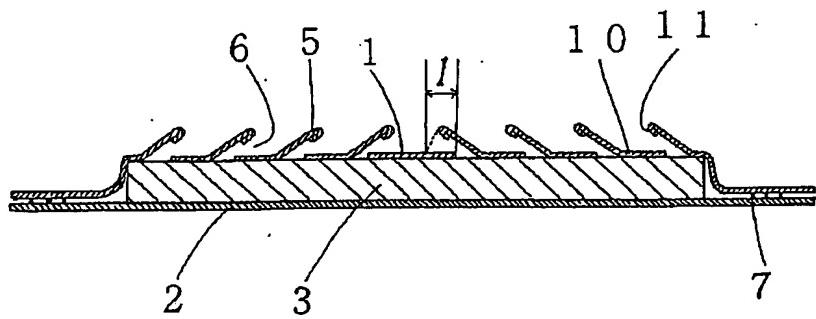
【図1】



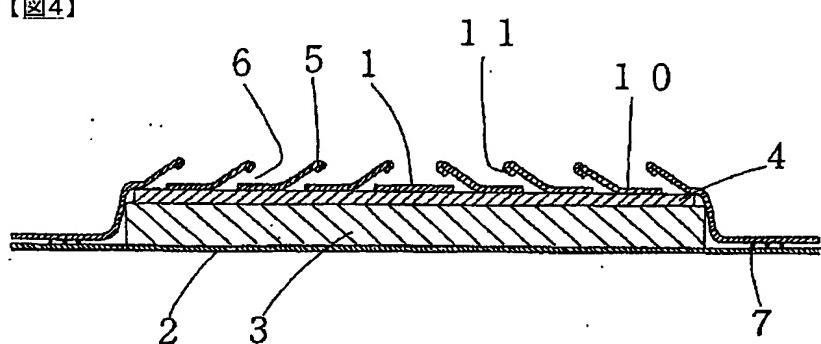
【図2】



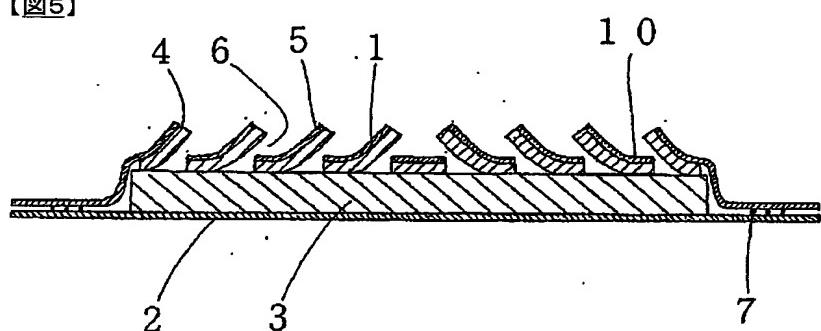
【図3】



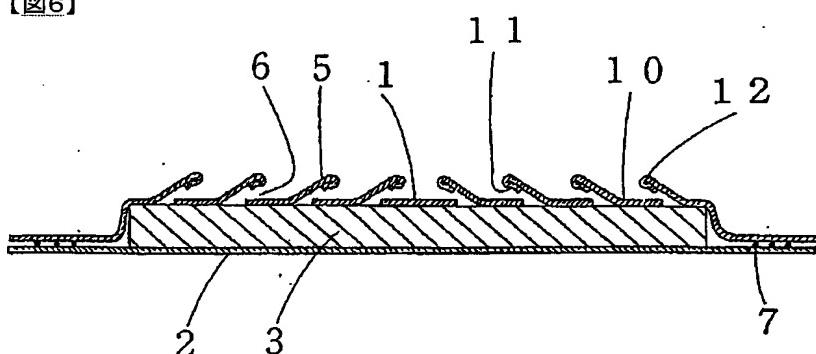
【図4】



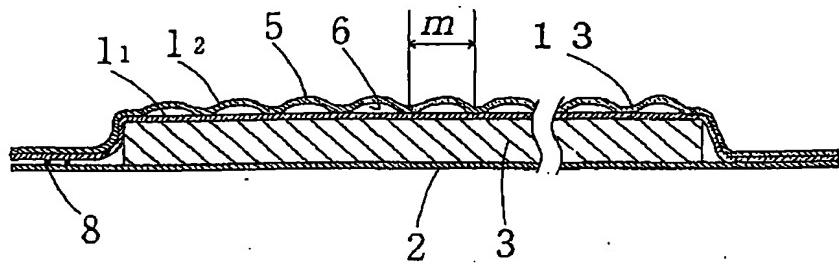
【図5】



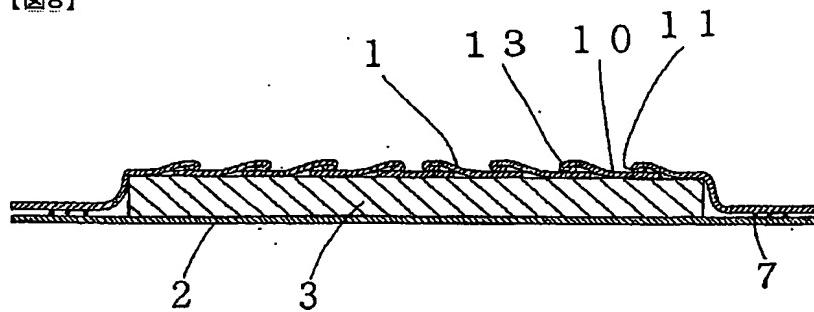
【図6】



【図7】



【図8】



【図9】

